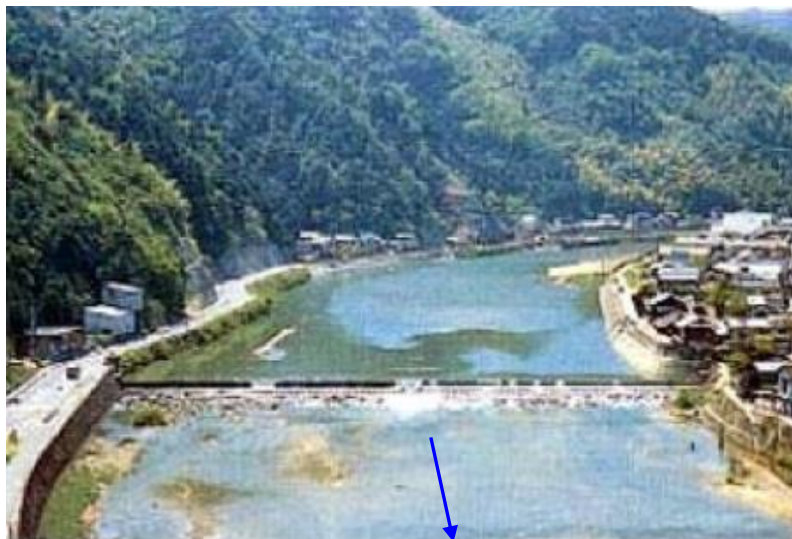
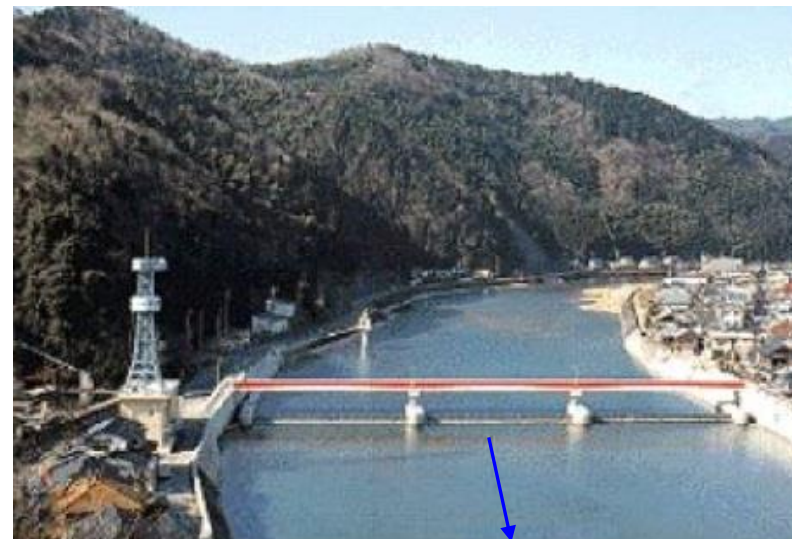


- 大竹村、和木村の農業用水の取水のために江戸時代(天保年間)に建設され長年にわたりその役目を果たしていましたが、昭和26年のルース台風による洪水時に流失しました。その後、可動堰に改築されましたが、老朽化や堰敷高が高く洪水を安全に流せない等の問題があり、洪水のスムーズな流下、塩害の防止、取水位の確保を目的とした現在の堰が平成5年に完成しています。



改築前の中市堰



現在の中市堰

名称	中市堰
距離標	2k550
位置	左岸: 大竹市元町二丁目地先 右岸: 和木町瀬田二丁目地先
目的	・洪水の安全な流下 ・塩害の防止 ・農業用水の取水位の確保

ゲート形式	魚腹型式鋼製転倒ゲート
堰長	102.8m
純径間長	29.100×3門
ゲート高	2.640m
魚道	階段式魚道(W=1.5m)
完成年月	平成6年2月